

# 社会 (地理的分野)

東京書籍

教育出版

帝国書院

日本文教出版

令和6年度

中高・飯水地区中学校教科用図書採択研究協議会

種目 (社会 地理的分野)

発行者名 採択基準	東京書籍 (新編 新しい社会 地理)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地理学習の基礎的な知識及び技能を系統的に習得する本文の「チェック」や「スキルアップ」、まとめの「確かめよう」を設けることで知識及び技能が定着できるように工夫がなされている。</li> <li>・1時間の学習課題に対し、本文の「トライ」や終末の「探究課題」で「見方・考え方」を働かせた学習活動ができるように工夫がなされている。</li> <li>・「未来にアクセス」「もっと知りたい！」等を設け、現代的な諸課題について理解し解決しようとする態度を養えるよう、工夫がなされている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1時間見開き2ページで、資料や本文、「チェック&amp;トライ」を紙面の定位置に配置し、学習の流れがわかる工夫がなされている。</li> <li>(2) コラム「聞かせて！中学生」が設けられており、その地域の生活を身近に感じ、興味・関心が高まるよう工夫がなされている。</li> <li>(3) 小集団での参加型学習を行うコーナーが設けられており、課題に対し、主体的・対話的に学習ができるよう配慮がなされている。</li> <li>(4) 地理学習のまとめに持続可能な地域の在り方を位置付け、課題発見、調査、情報の整理、発信など調査活動の基本的な方法を具体的に示し、身に付けられるように工夫がなされている。</li> <li>(5) 立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習に必要な情報に集中できるよう配慮がなされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 導入部→展開部→終結部の形で単元が構造化され、段階を踏んで探求課題を解決できるように工夫がなされている。</li> <li>(2) 章や節の始めに探究課題を明示し、1時間の学習課題を思考ツールの活用により整理し、課題解決が図れるよう工夫がなされている。</li> <li>(3) 学習の始まりの場面に「地理のミカタ」を示し、社会的事象の把握や関連性などを見出し、考察できるよう配慮がなされている。</li> <li>(4) 教科書全体を環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化、防災・安全、情報・技術の五つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習が進められるよう配慮がなされている。</li> <li>(5) 1時間の課題を掴むきっかけとなる「導入資料」が大判で掲載され、スムーズに学習に入れるよう配慮がなされている。</li> <li>(6) まとめが「探究のステップで振り返ろう」「『見方・考え方』を働かせてまとめよう」等で構造化され、評価の観点が明示されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を「課題をつかむ」→「課題を追究する」→「課題を解決する」という流れで構成することで、課題解決的な学習がスムーズに行えるよう工夫されている。</li> <li>・「地球的課題をふり返ろう」や「未来にアクセス」を設け、習得した知識を働かせ表現する活動ができるように工夫がなされている。</li> <li>・コラム「聞かせて！中学生」を設け、学習者の興味・関心を高め、主体的な課題追究につなげられるよう工夫がなされている。</li> </ul>

種目（社会 地理的分野）

採択基準 発行者名	教育出版（中学社会 地理 地域にまなぶ）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎時間の「学習課題」に対し、本文の「確認」やまとめの「学習したことを確認しよう」、「地理の技」で知識及び技能を身に付けられるように工夫がなされている。</li> <li>・ 1時間の「学習課題」に対し「表現」や「THINK!」、まとめの「学習したことを振り返ろう」で、「地理的な見方・考え方」を働かせて思考力、判断力、表現力等を習得できるよう工夫がなされている。</li> <li>・ 「クロスロード」など、生徒が親しみやすい話題を豊富に取り入れ、主体的に追究、解決できるよう工夫がなされている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習の展開や見通しがつかみやすいよう、1時間見開き2ページで授業が構成され、学習課題が明記されている。</li> <li>(2) 見通しと振り返りの場面を充実させることで主体的・対話的で深い学びが実現できるよう単元構成の工夫がなされている。</li> <li>(3) 導入資料に見方のヒントを掲載し、「学習課題」「追究」「確認」「表現」とつなげられるよう配慮がなされている。</li> <li>(4) 人々の暮らしの様子を取り上げ、持続可能な社会の実現に向け地域の課題や対応策について考察を深められるように工夫がなされている。</li> <li>(5) 白抜き文字や色文字は十分な大きさを確保し、資料の配色や模様を工夫することで、判読しやすいように配慮がなされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 単元を「問い」を軸にして課題解決的に追究しながら、基礎的・基本的な学習活動ができるよう工夫がなされている。</li> <li>(2) 単元を見通す導入や毎時間の学習課題、「学習のまとめと表現」のページを設け、単元を通した一連の学習となるよう構成されている。</li> <li>(3) キャラクター等を用いて気付きや問い、学習の手がかりを示すことで、資料の読み取りの際の視点を示すよう工夫がなされている。</li> <li>(4) 今日の課題が反映された事象を教材化することで、未来社会を切り開くための資質・能力が養えるよう工夫がなされている。</li> <li>(5) 本文に資料との関連が分かる番号を付し、導入資料には解説や吹き出しを付けることで、学習が深まるよう工夫がなされている。</li> <li>(6) 章・節の最後に「学習のまとめと表現」を設け、3観点に沿って3STEPで、段階的に学習効果を整理できるよう工夫がなされている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「問い」を軸に課題解決的に追究していく単元構成により、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫がなされている。</li> <li>・ 特設ページや「TRY!」により、言葉で表現したり、対話したりすることで深い学びにつなげられるよう工夫がなされている。</li> </ul>

種目 (社会 地理的分野)

発行者名 採択基準	帝国書院 (社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土)
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1時間の「学習課題」に対し、本文の「確認しよう」やまとめの「章(節)の振り返り1」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるように構成されている。</li> <li>・ 1時間の「学習課題」に対し、「説明しよう」やまとめの「章(節)の振り返り2」で、「地理的な見方・考え方」を働かせて思考力、判断力、表現力等を身に付けられるように工夫がなされている。</li> <li>・ コラム「未来に向けて」等でSDGsの話題を多く設け、主体的に取り組めるように工夫がなされている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見開き1時間の授業が想定され、「章・節の問い」や毎時間の「学習課題」が明確に設定されている。</li> <li>(2) 日本の諸地域冒頭のイラスト地図で、各地域の特色を端的にとらえられるように工夫がなされている。</li> <li>(3) 1時間の「学習課題」や「確認しよう」「説明しよう」を手がかりに、生徒が主体的・対話的に学習できるよう構造化されている。</li> <li>(4) 巻末に「地域のあり方」を設け、既習の知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を生かして、テーマ設定→調査→考察→解決策の構想→解決策の提案に取り組めるように工夫がなされている。</li> <li>(5) カラーユニバーサルデザインを採用することで、文字や図表を読み取りやすくし、インクルーシブ教育への配慮がなされている。</li> <li>(6) 地図や動画等、ICT機器と連携を図るためにQRコードが設定され、生徒の興味・関心を高め、知識及び技能を身に付けられるように工夫がなされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  (「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価)	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見開き1時間の授業を想定した学習活動で収めることのできる基本的・基礎的な学習内容が設定されている。</li> <li>(2) 単元を貫く問いや1時間ごとの学習課題が設けられ、課題解決的な学習ができる構成に工夫がなされている。</li> <li>(3) 資料と本文が密接に関連しており、「地理的な見方・考え方」を働かせて地理的事象の背景や因果関係などが読み取れるよう工夫がなされている。</li> <li>(4) 「未来に向けて」を設け、今日的な地域的・地球的課題の解決に取り組む視点を養う工夫がなされている。</li> <li>(5) 新出語句の「解説」が同一ページ内にあり、基礎的・基本的な知識及び技能の習得に取り組めるよう配慮がなされている。</li> <li>(6) 「解説」や本文だけでは理解しづらい用語には図解や写真が設けられ、視覚的に理解が深まるよう工夫がなされている。</li> <li>(7) 3観点に則した学習活動やまとめの場面が設けられ、生徒が見通しをもって学習に取り組めるよう配慮がなされている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「とびら」や「写真で眺める」を設け、生徒の興味・関心を高め、意欲的に学びに向かえるように工夫がなされている。</li> <li>・ 「地図帳活用」が設けられ、位置や分布、他地域との結び付きを地図上で捉えられ、学習がより深められるよう工夫がなされている。</li> </ul>

種目（社会 地理的分野）

採択基準 発行者名	日本文教出版（中学社会 地理的分野）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1時間の「学習課題」に対し、本文の「確認」や「スキルUP」、まとめの「まとめと振り返り」を設け、知識及び技能の確実な定着が図られるように工夫がなされている。</li> <li>・ 1時間の「学習課題」に対し、本文の「表現」やまとめの「自分の考えをまとめよう」を設け、「地理的な見方・考え方」を働かせて思考力、判断力、表現力等を身に付けられるように工夫がなされている。</li> <li>・ 「持続可能な地域をめざして」や「議論してみよう」を通して、主体的に学習に取り組むことができるように工夫がなされている。</li> </ul>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見開き1時間の授業が想定され、「編(章・節)の問い」や毎時間の「学習課題」が設定されている。</li> <li>(2) 多数の図版から州・地方の様々な地理的事象を読み取り、学習の最初に州・地方を視覚的に捉えやすいように工夫がなされている。</li> <li>(3) 毎時間の「学習課題」や「確認」「表現」を手がかりに、生徒が主体的・対話的に学習できるよう構造化されている。</li> <li>(4) 第3編の「地域調査の手法」の調査結果を踏まえて、「地域の在り方」の章で地域調査を実施し、調査結果をまとめ、考察・構想ができるよう工夫がなされている。</li> <li>(5) 全州・全地方で統一した体裁・サイズ・配置で図版が掲載され、図版同士の対比や比較がしやすいよう工夫がなされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 見開き1時間の授業を想定した学習活動で収めることのできる基本的・基礎的な学習内容が選択されている。</li> <li>(2) 単元を貫く問いや1時間ごとの学習課題が設けられ、課題解決的な学習ができる構成になるよう工夫がなされている。</li> <li>(3) 学習課題に対して手がかりが示され「地理的な見方・考え方」を働かせ、地理的事象の背景等が読み取れるよう工夫がなされている。</li> <li>(4) 「地理+α」「持続可能な地域を目指して」を設け、現代的な諸課題を自分事として捉え、解決に向けて行動できる態度を培えるよう工夫がなされている。</li> <li>(5) 図版には番号を付すとともに、本文にも関連する図版番号が付され、本文と図版を関連して読み取れるよう工夫がなされている。</li> <li>(6) 「まとめと振り返り」を設け、3観点に則した学習活動のまとめができ、学びの自己調整ができるよう工夫がなされている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「トライ」「スキルUP」等を設け、随所で生徒が自分の言葉で表現できるよう構成されている。</li> <li>・ 「地理的な見方・考え方」を働かせながら課題に取り組む問いを設け、主体的・対話的で深い学びの実現につながる工夫がなされている。</li> </ul>